

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

BOX No.137311

車両情報

ホンダ ライフ (イモビライザー付き車)
平成20年11月~

J C #系 1 / 2 ページ

ES-89Light

Type N.L.
Opt.

① イモビライザー & セキュリティーアラーム付き車のみ

① 注意事項：セキュリティーアラームについて

- 全車セキュリティーアラーム付きのため、取り付けができるエンジンスターターは以下のモデルのみです。
 - ES-89Pico (ESP11) シリアル：G0131001以降の製品のみ
 - ES-89ProLight II (ESL24) ●Pico950 (ESP40)
 - ES-89ProLight (生産終了モデル)
 - ES-89DualPico (生産終了モデル)
- 別売のダイオードハーネスⅡ (EP136) の取り付けが必須になります。2/2ページを参照してください。
- 使用上の注意事項があります。2/2ページを参照してください。

① 注意事項：スマートキー付き車 (全車)

- スマートキーシステム (イモビライザー) が、全車装着されています。
- 取り付けの際は、H-2イモビ対応ユニット (FOH02) を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

① 運転席側カバー類の外し方

- ① ロアカバーを外す。
 - 先にカバー下側の左右から手前に引っ張り、全体のツメに注意して外す。
- ② コラムカバー右側にある、エンジンスイッチノブを、以下の順番で外す
 - ノブのキャップを外す
 - エンジンスイッチノブを外す…マイナスドライバー等で、ノブの内側にあるツメを押しながら外す。
 - 鍵穴周囲のリテーナー (小さな樹脂製の部品) を外す…ノブの下側にある穴から、マイナスドライバー (小) でツメを押しながら、破損させないように注意して外す。
 - ノブのベース部分を外す…ネジ2本を精密ドライバーで外してから、ベース部分の部品をキーシリンダから外す。
- ③ コラムカバーを、以下の順番で外す
 - ローアコラムカバーの正面左右を押して正面のツメ2箇所を外し、カバーが浮いたところで全体のツメに注意しながら、アッパーコラムカバー全体を浮かせて先に外す。
 - 下側のネジ (2本) とクリップ (1本) を外し、ローアコラムカバーを外す。

A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後 (約3秒後) Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)
車両配線色

① CN2のL端子 (茶) は、室内に接続場所が無い場合配線はせずに、オート検出にて使用してください。

コラムカバー内上側
白色20Pカプラ



ホーン (緑)
青

止めネジ等
ナット ビス 隠れビス

① 機能付き機種のみ配線

① チルトステアリング付き車
コラムカバー内下側
キーシリンダ直付け



① チルトステアリング付き車/無し車で専用ハーネスが異なります。

① チルトステアリング無し車
コラムカバー内下側
キーシリンダ直付け



① CN2のドア検出配線 (紫) について

全てのドアの開閉を検出する場合は、別売のドア検出ユニット (EP030) を使用して、必ず指定した2箇所接続してください。

ヒューズBOX内
右側の下から2番目
薄緑色10Pカプラ



運転席ドア (紫 or 白/黒)
緑

① 運転席ドアの開閉のみ検出。

その他ドア (白/黒)
茶

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成21年 1月20日 作成
平成23年 4月15日 更新

BOX No.137311

車両情報

ホンダ ライフ (イモビライザー付き車)
平成20年11月~

J C #系 2 / 2 ページ

① イモビライザー & セキュリティーアラーム付き車のみ

ES-89Light

Type N.L.
Opt.

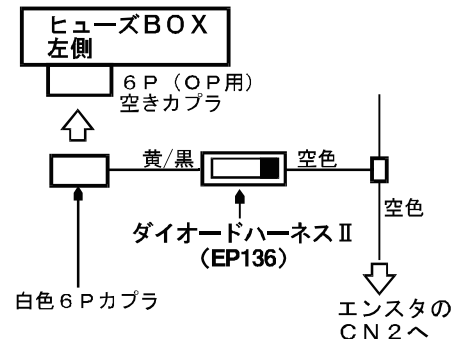
① 使用上の注意事項

- ① エンジンスターターのアフターアイドル機能は使用しないでください。(機能の設定はしないでください。)
 - ・アフターアイドル機能を使用すると、セキュリティーアラームが正常に動作しなくなる場合があります。
 - ・また、通常の始動(車両のエンジンノブ)によるアイドル中(走行時も含む)に、車両側が誤作動する場合があります。
- ② エンジンスターターでアイドル中は、車両のキーレスエントリー操作によるドアロック/アンロックは作動しません。
 - ・リモコンのSTOP操作で一旦エンジンを止めてから、キーレスエントリーを操作してアンロック/ロックをしてください。
 - ・なお、スマートキー付き車は、アイドル中にもスマートエントリー操作(運転席ドアのリクエストスイッチを押す)によるアンロック/ロックは作動します。セキュリティーアラームのセット/解除も運動します。
 - ・また、エンジンスターター(ES-89ProLight II)のリモコンによるアンロック/ロックは、アイドル中にも作動します。セキュリティーアラームのセット/解除も運動します。
- ③ セキュリティーアラームをセットして警戒中は、メカニカルキーでドアをアンロック(開錠)しないでください。
 - ・エンジンスターターによるアイドル中は、セキュリティーアラームがセットされた(ドアがロックされた)状態で、メカニカルキーを使ってドアをアンロックすると、セキュリティーアラームの警報が作動します。

ダイオードハーネスⅡ接続方法

ON信号(黄/黒)
6Pカプラ接続

- ① ヒューズBOX内左側にある、6Pの空きカプラ(純正用品用のカプラ)に、ダイオードハーネスⅡの6Pカプラを接続する。
- ② 6P(オプション用)カプラに既に純正用品のハーネスが接続されている場合は、カプラの捨てハウジングを外してから、ダイオードハーネスⅡの6Pカプラを接続する。



- ① ダイオードハーネスⅡの空色は、エンジンスターターCN2の空色(ギボシ付きの空色)に接続する。

キーシリンダ右上側のイモビアンユニット裏側 緑色7Pカプラ

H-2代対応工外

7Pコネクタを割込接続

ヒューズBOX内 右側の一番下 薄緑色16Pカプラ

(L) ドアロック(灰) 赤 (L)

アンロック(黄) 灰 (L)

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、ⓧの表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。